

2026年度 鹿児島県看護連盟リーダー研修Ⅲ-① アンケート結果報告

現場リーダーにもたらしたインパクトと今後の展望

研修の全体像と高い回答率が示す現場の関心



期日：2026年5月16日（土）
10:00～12:00

テーマ：政策活動と診療報酬改定
/ 令和8年度改定を踏まえた
「様式9の基礎」



参議院議員：友納 りお
鹿児島県看護連盟会長：田畑 千穂子

施設基準管理者：今村 由美子氏
野田 鉄平氏



参加者総数：151名
（※役員・協力員等は含めず）



アンケート回答者数：82名

回答率：54.3%

令和8年度のはじめての企画で「様式9研修」を開催しました。期待以上の申し込みとなり、会場を自治会館大ホールに変更して開催いたしました。

参加者のアンケートの評価は高く次年度の開催も検討していきたいと思っております。

今村由美子氏、野田鉄平氏のお二人講師に感謝いたします。



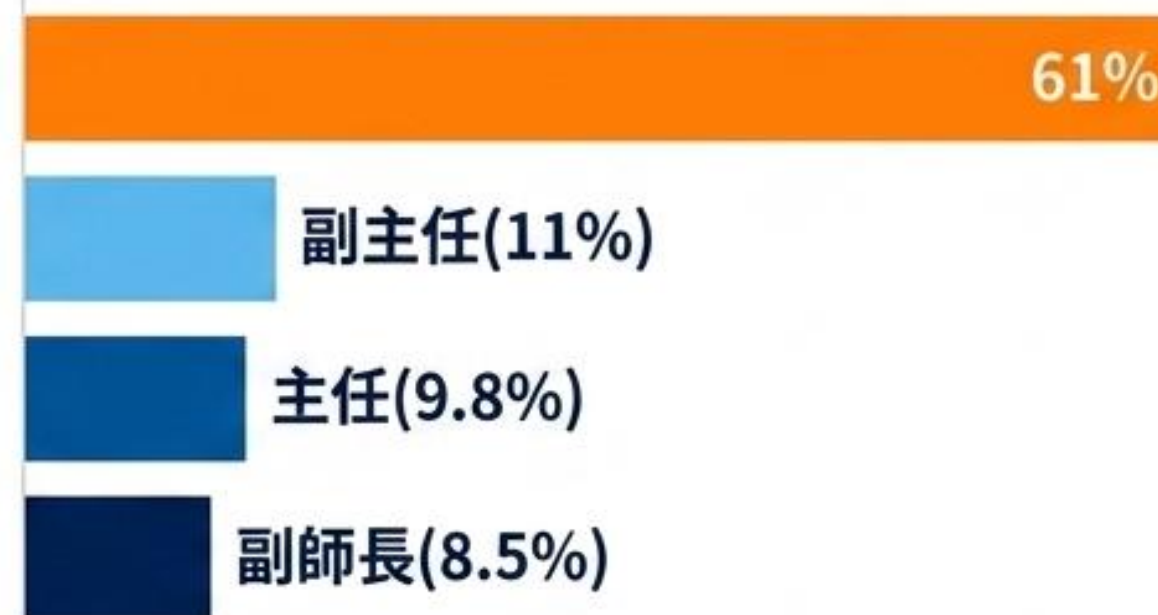
現場の中核を担うリーダー層への的確なアプローチ



看護連盟会員比率

参加者のほぼ全員が会員であり、連盟の活動に対する高い関与度を示しています。

師長（課長）層が61%



管理業務の最前線に立つ「師長・課長」クラスが過半数を占め、リーダー層向けの研修として想定通りのターゲットにリーチしました。

参加者のほぼ全員が実感した「圧倒的な満足度と実用性」



全体満足度

「とても満足 (57.3%)」 + 「満足 (39.0%)」



業務への活用度

「とても役立つ (56.1%)」 + 「役立つ (41.5%)」

数値が物語る事実：本研修は、現場の最前線に立つリーダーたちにとって「極めて価値が高く、明日から使える内容」であったことが強く証明されました。

複雑で難解な「様式9」の壁を打ち破る高い理解度

診療報酬改定と「様式9」の実践という、現場の管理者にとって極めて専門的で複雑なテーマ。



8割以上の参加者が「理解しやすい」と回答。今村氏・野田氏による専門的かつ実践的な解説が、参加者の深い理解を効果的に引き出しました。

「とても理解しやすい (37.8%)」
+ 「理解しやすい (47.6%)」

自由記述から読み解く「3つの具体的な学習価値」



計算ルールと 実務の習得

- 「夜勤時間の算出方法が理解できた」
- 「初めて計算の方法を理解しました」
- 「算入できる時間数が月1時間までであること」



管理者としての 責任の再認識

- 「施設基準の重要性、管理者としての責任を痛感した」
- 「届出を行う責任の重さを知り、多職種で協力する課題だと理解した」
- 「システム任せになっていたので、確実な管理の必要性を感じた」



改定内容の 的確な把握

- 「改定内容や様式9の具体的な考え方が学べた」
- 「診療報酬改定後の変更について把握できた」
- 「基礎的なことを学べたので理解しやすかった」

現場の声が示す「次への明確なステップと要望」

今回の研修の圧倒的な成功を受け、現場からはさらなるステップアップを求める声が寄せられています。

ニーズ①：本研修の継続的な開催

政策と現場をつなぐこの学びの場を、一過性ではなく定期的な取り組みとして定着させてほしいという強い要望。

「今回のような研修会は継続して欲しいです」
「定期的にこの研修を受けるようお願いします」
「繰り返し行っていただくとよいです」

ニーズ②：様式9のさらなる「深掘り」と「実践」

基礎を理解したからこそ生じる、自施設での実際の運用やより高度な事例に対する実践的な解説への渴望。

「もう少し詳しく様式9を学びたい」
「様式9の実際についてもう少し時間を使って教えていただきたいです」

総括：次世代の医療を支えるリーダー育成の大成功

- ✓ 現場リーダー層にダイレクトに響く内容であり、**96%超**という驚異的な満足度と実務活用度を記録しました。
- ✓ 難解な「様式9」の解説を通じて、単なる計算手法の習得にとどまらず、「**管理者としての責任**」という深い意識変容を現場にもたらしました。
- ✓ 参加者はすでに「継続的な学び」と「より実践的な深掘り」を強く求めており、**本研修の定期開催は連盟における極めて重要なミッション**であることが証明されました。